

平成 2 6 年

第 6 回仙北市議会臨時会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 6 年 1 0 月 1 7 日

平成26年第6回仙北市議会臨時会の開会にあたり、前回定例会後の主な事項について、ご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇田沢幼稚園の現状等について

田沢幼稚園の現在の園児数は3人で、うち1人が今年度で卒園することから、来年度の田沢幼稚園の入園募集にあたり、入園対象保護者（在園児の保護者含む。）の意向を確認したところ、入園希望者がいない状況です。

こうした状況から、来年度の田沢幼稚園の入園募集は行わず、休園とし、だしのこ園の分園等として活用し、維持管理していく方向で検討を進めております。

◇小・中学校児童生徒の活躍について

9月18日に秋田県生涯学習センターで開催された、第67回秋田県中学校英語暗唱弁論大会において、角館中学校2年の戸澤彩さんが、暗唱部門で見事第1位に輝きました。11月9日に秋田市で開催される、第62回東北6県中学校英語暗唱弁論大会に出場いたします。

また、9月28日に美郷町で開催された、第37回秋田マーチングフェスティバル美郷大会において、生保内小学校金管バンド部、角館小学校ドリームハーモニーが、それぞれ優秀賞を受賞し、生保内小学校が10月19日に福島市で開催される、第33回全日本小学校バンドフェスティバル東北大会に、角館小学校が10月31日に宮城県利府町で開催される、第43回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会に出場いたします。

【市民会館】

◇生保内節全国大会について

9月22日と23日の両日にわたり、29回目を迎えた「生保内節全国大会」が市民会館を会場に開催されました。当日は若干の欠場があったものの昨年より20人ほど多い、一般の部に129人、年少者の部に21人が出場し、日ごろ研鑽している自慢ののどを競い合いました。

23日の決勝の結果、一般の部は大仙市の富岡久美子さんが、年少者の部は、地元西木町の吉田友音(よしだ ゆの)さんが、それぞれ最優秀賞に輝きました。

今大会からは、一般の部に内閣総理大臣、年少者の部に文部科学大臣から賞をいただくことができ、全国大会にふさわしい権威ある大会となりました。

来年は、30回という記念すべき節目の大会となります。仙北市誕生10周年とも重なりますので、関係団体とも相談しながらより充実した密度の濃い大会にすべく、着実に準備を進めて参ります。

【スポーツ振興課】

◇田沢湖マラソン等スポーツ面の活躍について

9月21日に、第29回田沢湖マラソンが、県内外から5,751人のエントリーをいただき、秋晴れのもと盛大に開催されました。招待選手に君原健二さんをお迎えし、ランニング教室や前夜祭、10キロマラソン、プレゼンターなどで、選手と交流していただきました。また、アジア大会の調整ということで、埼玉県庁の公務員ランナー川内優輝選手が、20kmマラソンに一般選手として参加し、大会新記録のタイムでゴールすると会場内は大きな拍手に包まれました。

当日は、警察や交通安全協会などのご協力により、懸念された交通渋滞が緩和され、スムーズな駐車場への誘導がなされた

と感じております。

来年は、30回の記念すべき大会となることから、さらに盛り上がった大会になるよう十分な準備を進めて参ります。

次に、9月28日、秋田市八橋運動公園をメイン会場に秋田市内の特設コース9区間を、たすきでつなぐ第1回目の「秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！」が開催されました。

この大会は、県内全市町村の代表選手によるチームで競われ、仙北市からも小学生、中学生、高校生、一般、壮年の各年代の代表選手からなる選抜チームを結成し大会に臨みました。

その結果、仙北市選抜チームは、参加29チーム中第10位の成績（記録：1時間59分27秒）を収めることができました。監督、選手、サポート等チーム関係者の頑張りに感謝したいと思います。

また、第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」のカヌー競技において、本市の佐々木優選手が、成年男子スラローム・カヤックシングル（15ゲート）で見事優勝しました。佐々木選手は、昨年東京国体のワイルドウォーター・カヤックシングル（スプリント）に続き、2年連続での国体制覇という快挙を成し遂げたこととなります。

【国民文化祭推進室】

◇第29回国民文化祭・あきた2014の開催について

今月4日から第29回国民文化祭・あきた2014が始まりました。本市においては同日、角館町平福記念美術館において「江戸に花開いた秋田の文化」のオープニングセレモニーで幕開けしました。

期間中における各種展示やイベントもスタートし、各会場とも順調な滑り出しとなっております。

角館町平福記念美術館では、「江戸に花開いた秋田の文化」の秋田蘭画展、樺細工伝承館では、佐竹北家時代展、新潮社記念文学館では、「秋田の文学について知ろう」の秋田にゆかり

の作家パネル展、旧上桧木内小学校では、「内陸線アート」の枯葉アートポスター展が開催されております。

そのほか「内陸線アート」の車両のアトラッピング、小さな駅の「里山」アート展も始まっております。

また、4日と5日には、「おもてなし事業」として、JR角館駅において、列車の到着に合わせ仙北市のゆるキャラや太鼓によるお出迎えと豚汁等の振る舞いをいたしました。この「おもてなし事業」は、このあとも土、日を中心に継続して参ります。

5日には、「江戸に花開いた秋田の文化」の講演・シンポジウムが角館交流センターで開催され、法政大学総長の田中優子さんの「秋田蘭画が生まれた時代」と題した記念講演や佐竹知事も参加してのパネルディスカッションも行われました。

また、会場入り口では、仙北市議会議員の皆様による餅つきが行われ、来場者につきたてのお餅を振る舞っていただき、大変好評でした。

6日と9日には、「秋田の文学について知ろう」文学講座を総合情報センターにおいて開催しております。講師は、高橋秀晴秋田県立大学教授と秋田県生涯学習センターシニアコーディネーターの北条常久氏です。遠く福岡県から参加された方もおり皆様の好評を得ております。

12日には、「田沢湖・角館短歌大会」が市民会館で開催され、歌人の早稲田大学名誉教授の佐佐木幸綱氏、歌人の俵万智さん、元NHKキャスターで語り部の平野啓子さんによる記念講演として、「歌の力」と題した鼎談^{ていだん}が行われ、31文字に込められた短歌の魅力について語っていただきました。

また、大会には国内外から昨年度より2,000首ほど多い9,298首の作品の応募があり、文部科学大臣賞をはじめ、各賞の表彰が行われました。

また、同じ12日には、「青少年東北民俗芸能の祭典」が、わらび劇場を会場に開催されました。青少年による本市の生保内

田植え踊りと石神番楽や被災地福島県浪江町の請戸の田植踊り、宮城県気仙沼市の平磯虎舞、岩手県大槌町の吉里吉里虎舞など、10演目の民俗芸能が発表されました。会場は超満員で、民俗芸能を通して被災地の復興にかける若者たちの熱意とエネルギーあふれる舞台に、大きな拍手が送られていました。

今後の各イベントの実施に当たっても市職員が一丸となり、企画委員、関係者並びに市民やボランティア等の協力をいただきながら、参加者や来訪者の良き思い出となるよう努めて参ります。

以上、教育行政に関する報告を申し上げまして、教育行政報告といたします。